

ZENRIN

証券コード：9474

2016年3月期 決算説明会

2016年5月13日

株式会社ゼンリン

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

コーポレート本部 経営管理・IR部長

戸島 由美子

Maps to the Future

2016年3月期 決算説明会

1. 2016年3月期 決算概要

2. 2017年3月期 業績予想

3. 事業概況

Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2016年3月期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 営業利益増減要因
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 4) セグメント情報
- 5) キャッシュ・フロー推移

1-1)決算概要

2016年3月期 決算のポイント

前期比<増収増益>

- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上が堅調に推移
- 前第3四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めた子会社の売上寄与
- 売上高、営業利益、経常利益は3期ぶり増収増益、親会社株主に帰属する当期純利益は2期連続増益

業績予想比<減収増益>

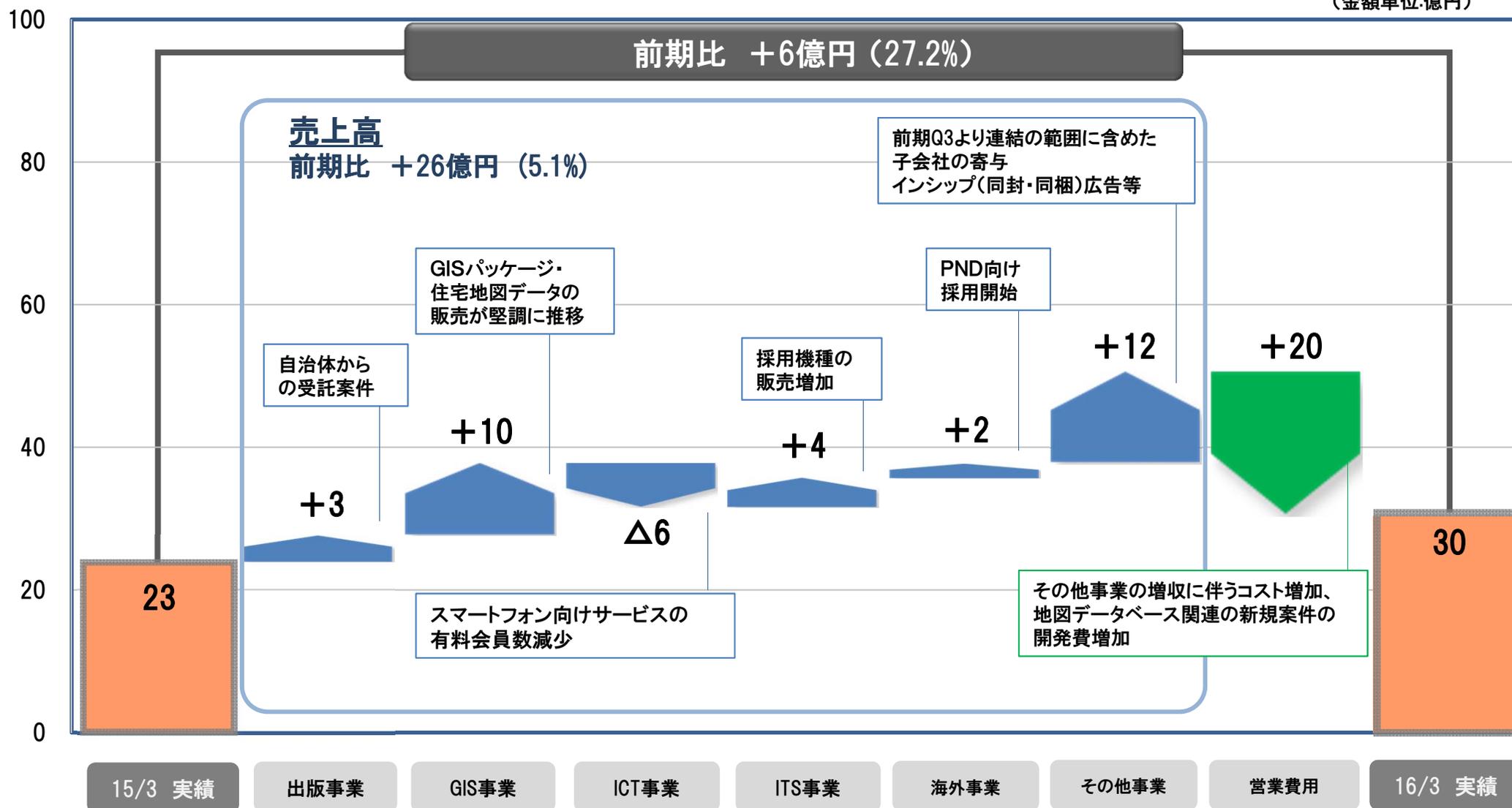
- 売上高はICT関連のデジタルサイネージなど新規案件の成約遅れにより減少
- 新規案件の売上繰り延べによる費用未発生やコスト低減に努めたことなどにより、各利益において増益

(金額単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	2016年3月期 実績	前期比	増減率 (%)	予想比	増減率 (%)
売上高	52,286	55,500	54,970	2,683	5.1%	△529	△1.0%
営業費用	49,897	53,000	51,931	2,033	4.1%	△1,068	△2.0%
営業利益	2,389	2,500	3,038	649	27.2%	538	21.6%
営業利益率	4.6%	4.5%	5.5%	0.9pt	—	1.0pt	—
経常利益	2,751	2,800	3,427	676	24.6%	627	22.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,464	1,500	1,610	145	10.0%	110	7.4%

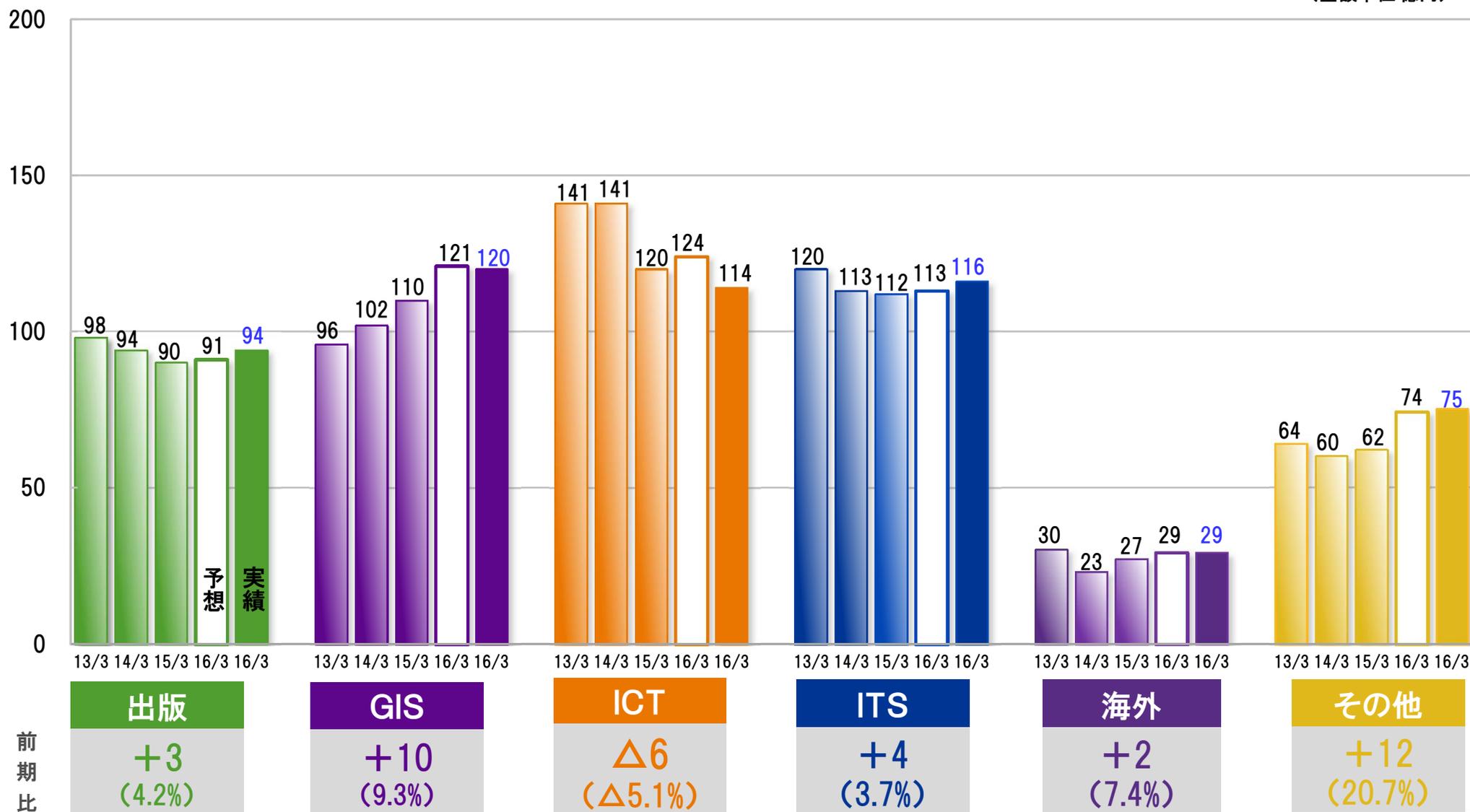
1-2) 営業利益増減要因

(金額単位:億円)



1-3)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

(金額単位:億円)



※2013年3月期～2014年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

1-4)セグメント情報

売上構成
比率

83.9%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



6.7%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



9.4%

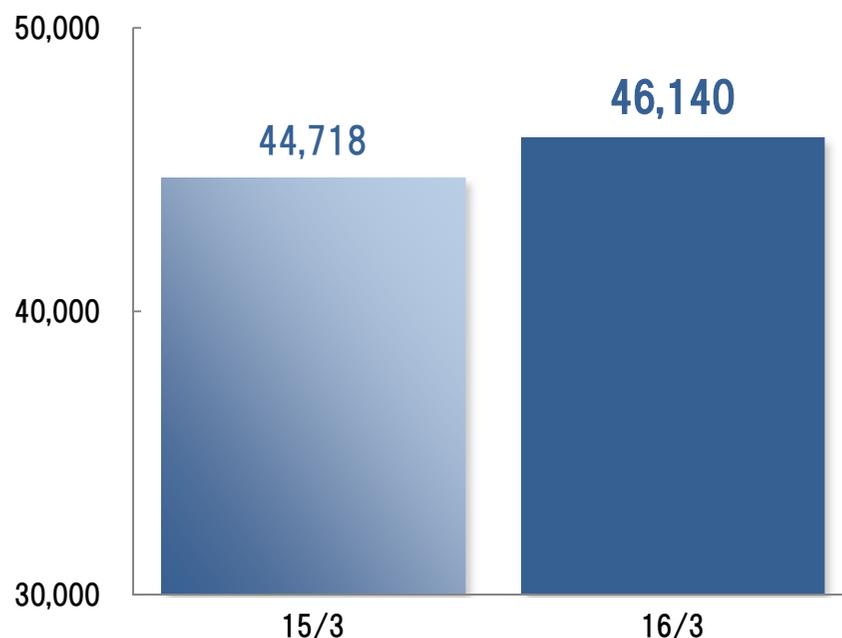
1-4)地図データベース関連事業

(金額単位:百万円)

売上高

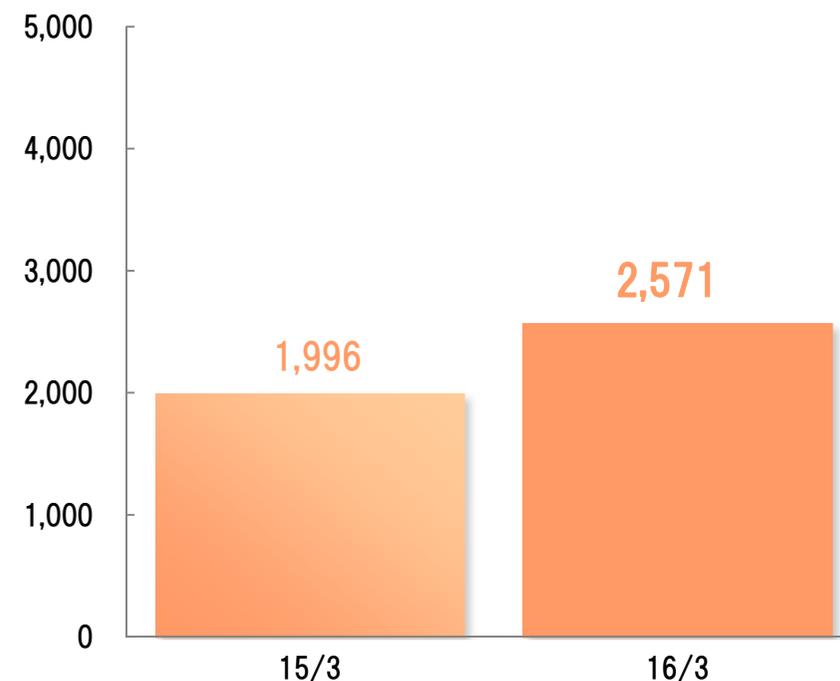
前期比

1,421増加 (3.2%)



営業利益

574増加 (28.8%)

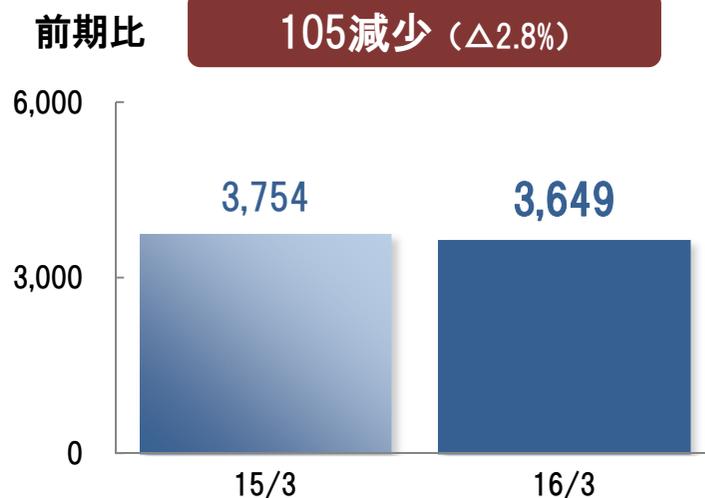


- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上は堅調に推移、自治体からの受託案件獲得
- ICT関連のスマートフォン向けサービスの有料会員数は減少傾向

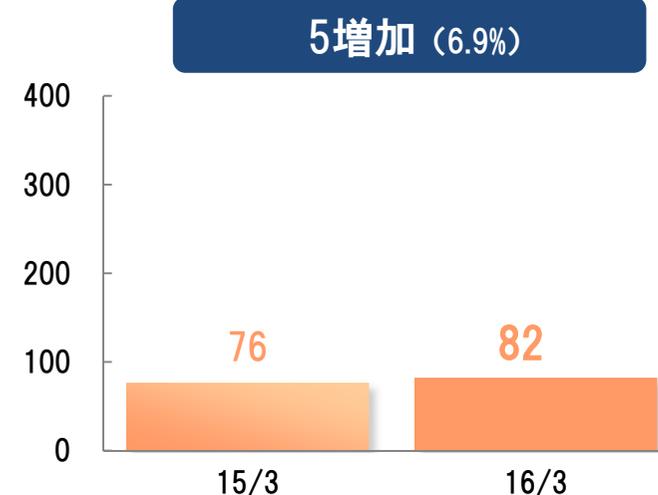
1-4) 一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

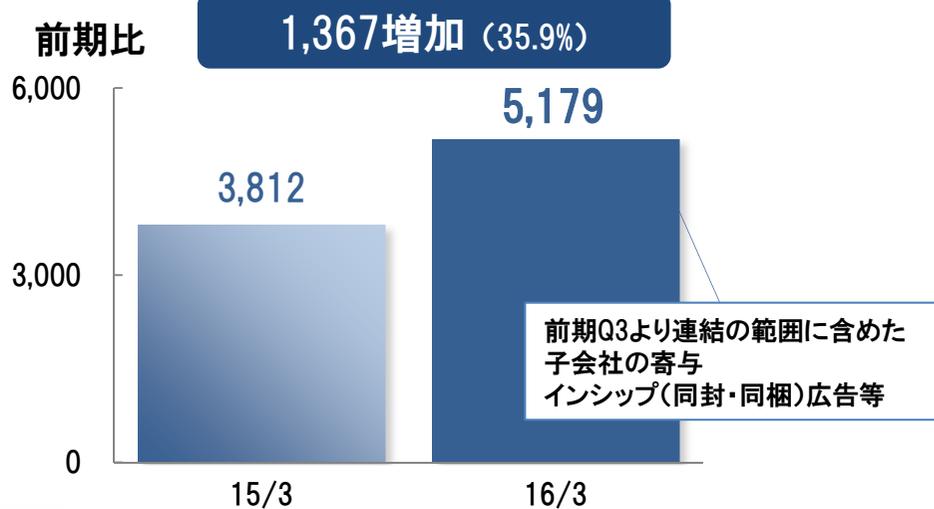
売上高



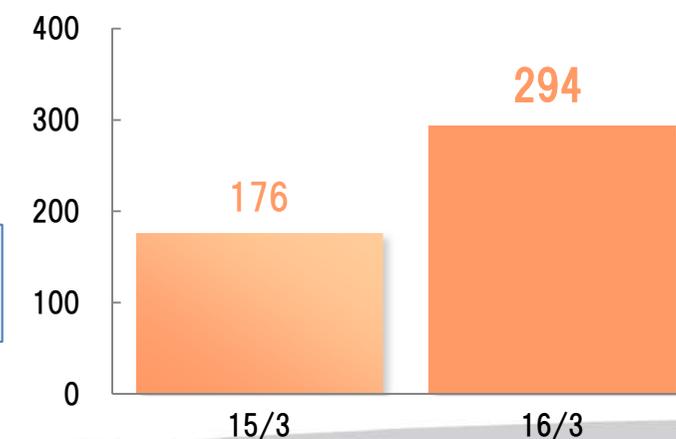
営業利益



その他



117増加 (66.3%)



1-5) キャッシュ・フロー推移

営業CF

1,481収入増加

投資CF

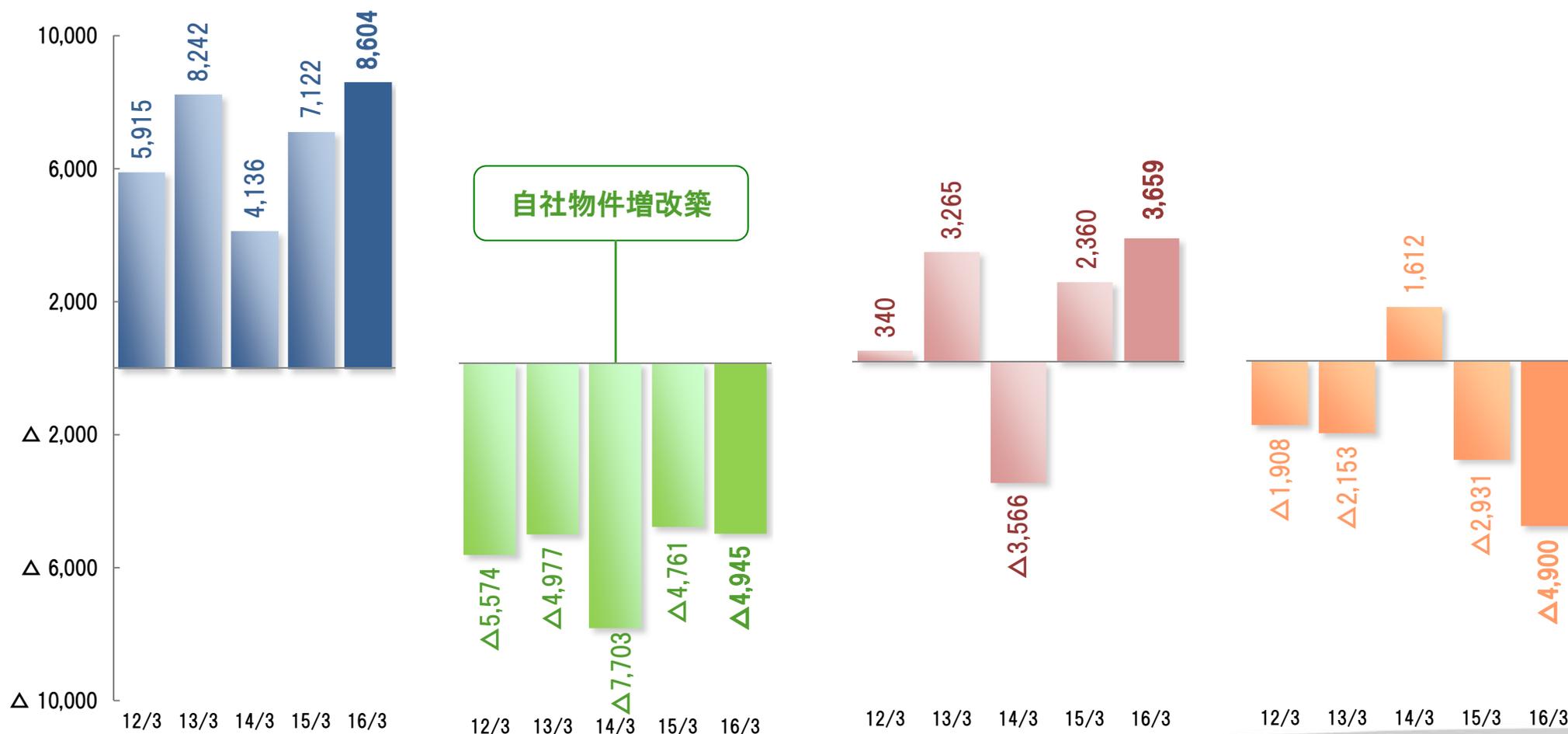
183支出増加

フリーCF

1,298収入増加

財務CF

1,968支出増加



2. 2017年3月期 業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) 配当金

2-1) 2017年3月期 通期業績予想

2017年3月期 通期業績予想について

ZGP2020 2年目<増収増益>

既存事業による収益確保と生産性改革の実現

- GIS事業による収益確保
- 生産性改革による固定費率の低減
- 時空間情報システムの安定運用と商品開発

(金額単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	54,970	57,000	2,029	3.7%
営業費用	51,931	53,600	1,668	3.2%
営業利益	3,038	3,400	361	11.9%
営業利益率	5.5%	6.0%	0.5pt	—
経常利益	3,427	3,700	272	7.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,610	2,200	589	36.6%

2-2) 配当金

基本方針

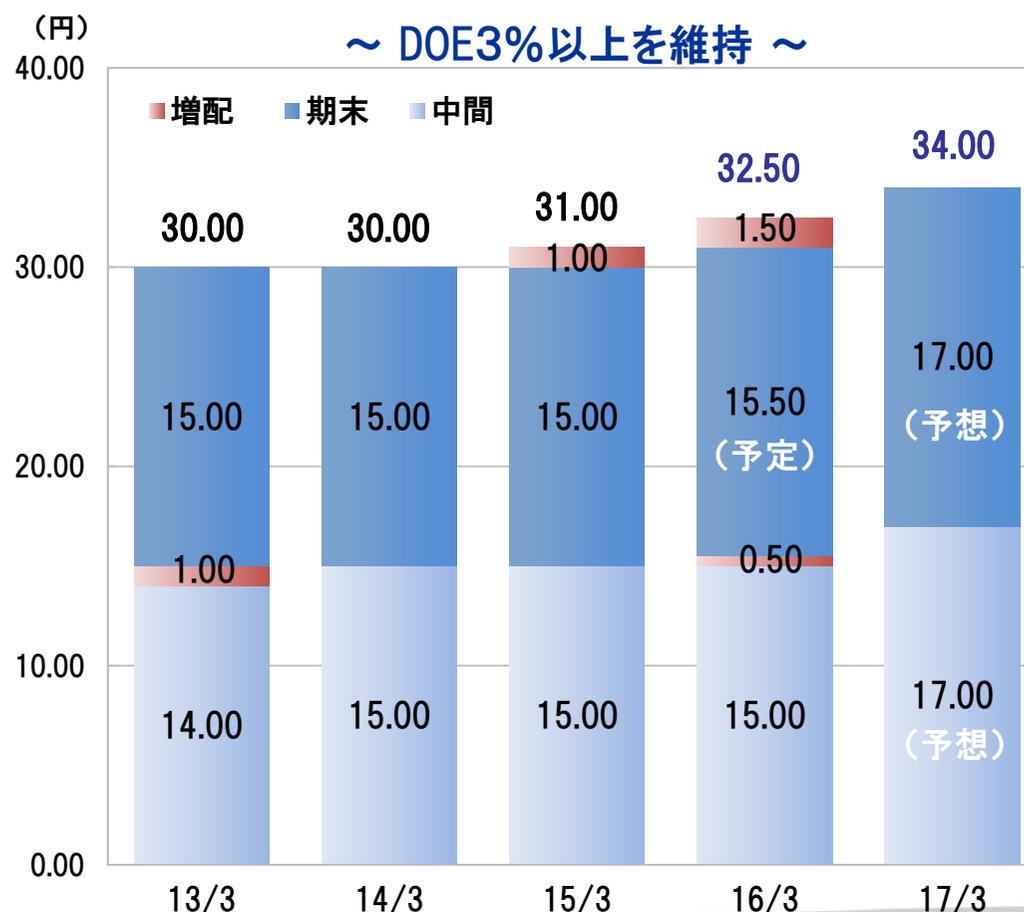
適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2016年3月期配当金 (前期比)

中間	15円50銭 (+50銭)
期末(予定)	17円00銭 (+1円)
年間(予定)	32円50銭 (+1円50銭)

2017年3月期配当金 (前期比)

中間(予想)	17円00銭 (+1円50銭)
期末(予想)	17円00銭 (-)
年間(予想)	34円00銭 (+1円50銭)



3. 事業概況

- 1) ZGP2020進捗と課題
- 2) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 3) ZGP2020事業戦略
 - 事業別売上高(実績/予想/ZGP2020目標)
 - 重点施策

3-1) ZGP2020 進捗と課題

	ZGP2020 実績と目標値				
	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	2018年3月期 目標	2020年3月期 目標
連結売上高	522億円	549億円	570億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	23億円 (4.6%)	30億円 (5.5%)	34億円 (6.0%)	50億円 (8.3%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	3.9%	4.0%	5.4%	8%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3.0%	3%以上	3%以上	3%以上

2016年3月期の 進捗/評価

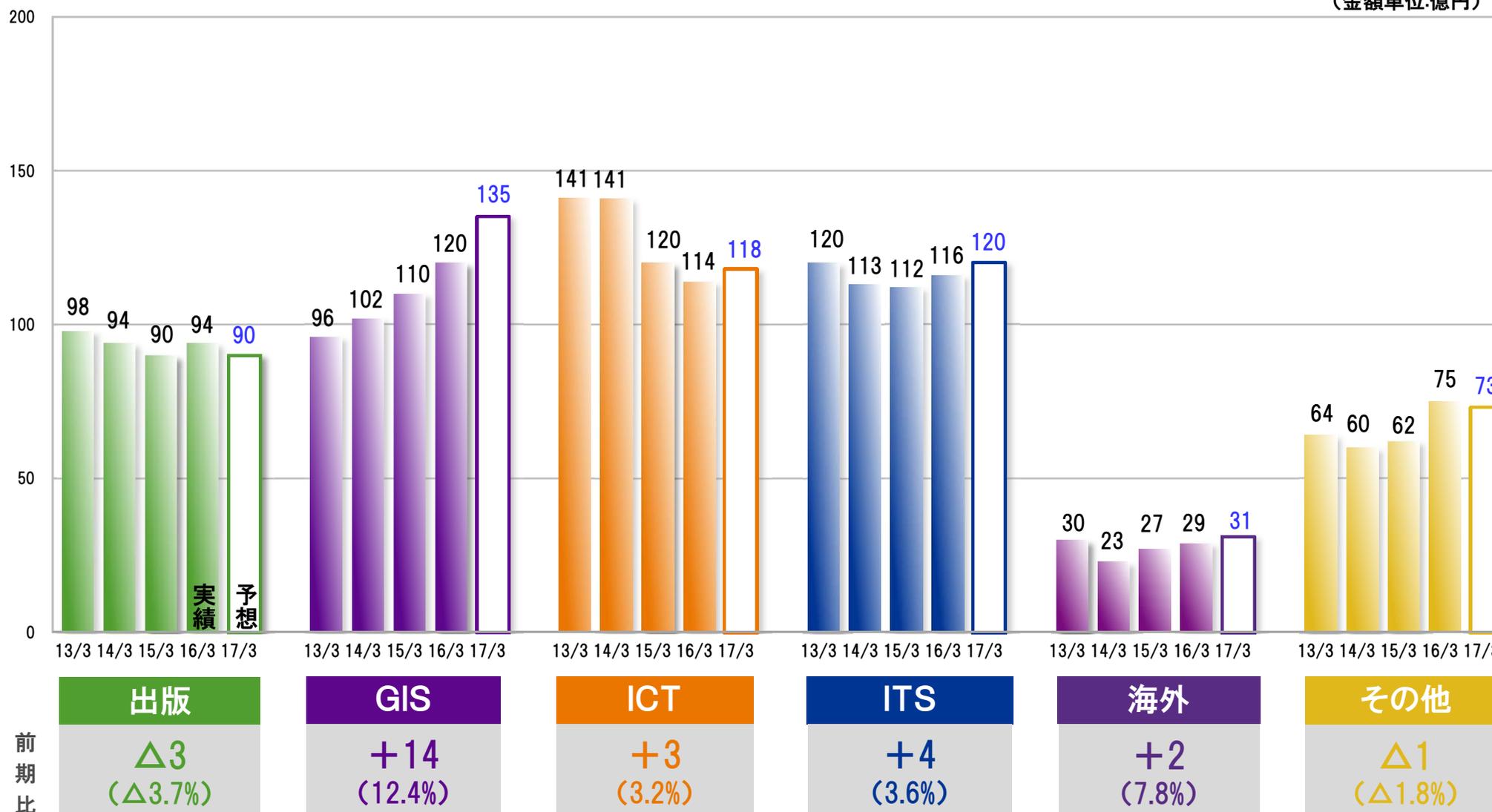
- ・優先事業であるGISのパッケージ商品投入や業務支援ソリューション提案、自治体への空家情報提供等により既存事業分野での安定収益確保
- ・ADAS向け高精度地図データ開発着手
- ・観光分野及びステーションナリー、ドローン等の事業化に向けた試作、実証実験開始

2020年3月期 に向けた課題

- ・GIS事業の更なる収益拡大のため、用途開発/販売戦略の確立
- ・ADAS、観光分野での、自社/協業ビジネスモデル確立と早期収益化
- ・時空間情報システムを利用した商品/サービスの早期実現

3-2) ZGP2020で区分した事業別売上高

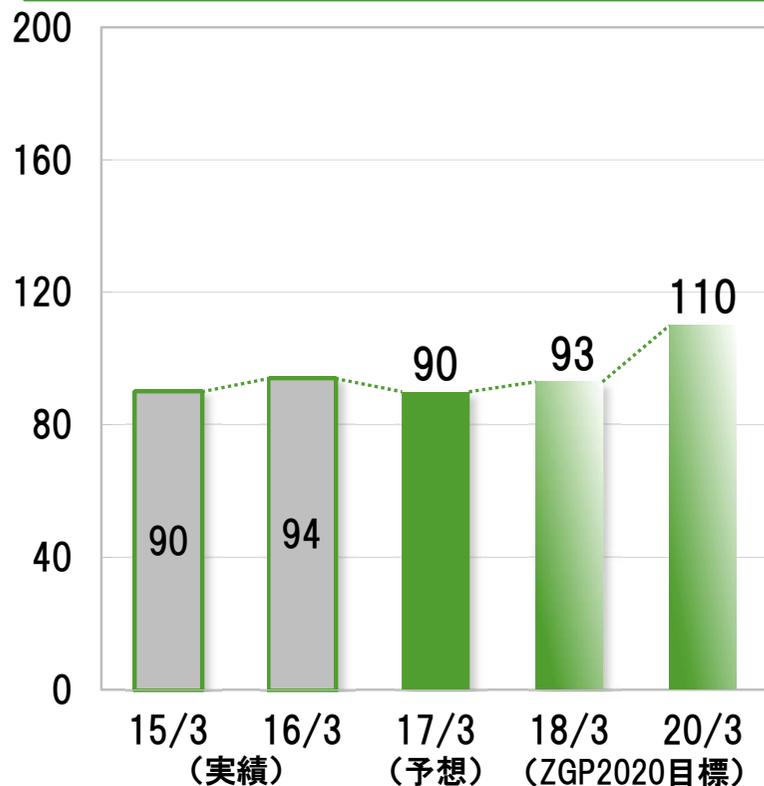
(金額単位:億円)



※2013年3月期～2014年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

2017年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 3$ 億円($\Delta 3.7\%$)

＜重点施策＞
営業スタイルの転換(全国約60拠点)
自治体向け企画型商品の拡充



プリントメディアの「コト」を追求

単発的購入モデルから継続的利用モデルへ変革

商品・サービスの企画・開発・検証／営業スタイル転換

手軽に利用できるオンデマンドサービスの拡充

受託型商品から進化した企画型商品の拡充

空家問題の対策における調査業務受託

★ 地図を新たなコンセプトで捉えて市場創造

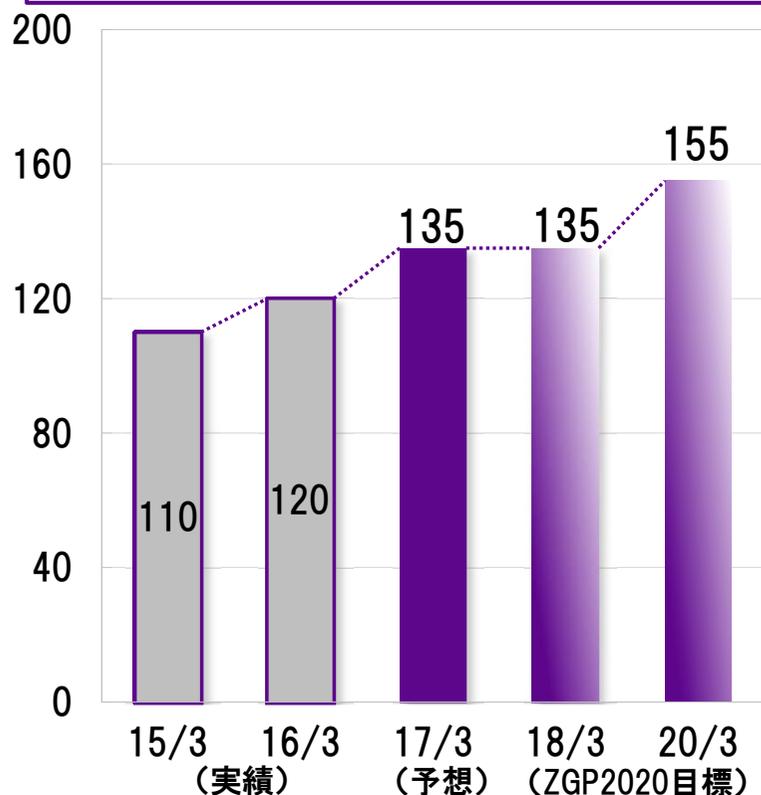
地図ステーションナリーの拡販

- ・「mati mati」シリーズ
エリア／販路拡大
- ・新商品企画



2017年3月期 売上高予想
前期比 +14億円(+12.4%)

＜重点施策＞
既存サービスでの安定収益確保と
エントリー商品投入による拡販



コンセプト商品の拡充

用途開発された商品と新価格の投入でゼンリンGISブランドを構築

★ 地図に主題を付与したコンセプトが明確なパッケージ商品の投入

- ・GISパッケージ4シリーズによる安定収益確保
- ・売上保有高の増大に向けた新商品投入と販売ルート開拓

GIS利用の裾野拡大に向けたエントリーモデルの投入

GISマーケティングサービスのリリース

自治体プラットフォームの確立

★ 情報還流型ビジネスモデルの確立

提携先保有情報と地図情報を利活用した商品戦略策定

3-3) ZGP2020事業戦略 —GIS事業— (GISブランド構築)

※数値は2017年3月期売上規模(前期比)

GISブランド構築

官公庁/自治体

大手企業

中小企業

営業

マーケティング

オペレーション

(新規)自治体向け

(新規)情報還流型ビジネス

ソリューション
(プレミアム)

115億円(+7)

専用システム向け住宅地図データ提供

- ・消防・警察(緊急指令システム等)
- ・金融(担保評価、顧客管理等)
- ・宅配(配送、動態管理等) 他

住宅地図データとその他情報を活用

- ・不動産仲介業(物件管理、売買)
- ・自治体、不動産仲介業(空家、空地) ★
- ・インフラ(施設管理)
- ・企業向け(施設管理、営業支援、マーケティング等)

(新規)用途開発によるサービス提供

セレクション
(スタンダード)

パッケージ
(エントリー)

5億円(+3)
GISマーケティング ★

15億円(+4)
GISパッケージ
・既存4タイトル
・新規タイトルリリース

空家対策総合ソリューション (空家の所在把握から対策実践までの業務サポート)



＜ゼンリンの現地調査網を活用＞
2016年3月期～
自治体からの調査業務受託
・2016年3月期 104件
・2017年3月期 100件以上

＜日本不動産研究所と協業＞
・物件ごとの対策提案
・空家等対策計画の策定支援
・特定空家等の対策・措置支援

・セミナー開催等の住民対策支援
・協議会の設置・運営支援

空家調査地図イメージ



整理番号	種別	所在地	用途	構造	階数
A0001	空家	***北町1-2-3	住居	木造	1
A0002	特定空家	***南町2-3-4	住居	木造	2
A0003	特定空家	***西町3-4-5	住居	木造	2
A0004	空家	***東町4-5-6	店舗	木造	1
A0005	空家	***北町5-6-7	住居	木造	1
A0006	特定空家	***南町1-2	店舗	木造	2
A0007	空家	***西町2-3	住居	木造	2
A0008	空家	***東町3-4	住居・店舗	木造	2
A0009	空家	***北町4-5	住居	木造	2
A0010	空家	***南町5-6	住居	木造	1

空家等の情報を地図上に可視化
視覚的な把握・情報整理が可能

(参考)
「空家等対策の推進に関する特別措置法」
施行日:2015年2月26日(5月全面施行)

GISマーケティング

地図データ(住宅地図等)



統計データ

年収階級別世帯数推計データ

貯蓄階級別世帯数推計データ

消費支出推計データ

建物統計データ

住宅統計データ

商業集積統計データ

ポイントデータ

建物ポイントデータ

住宅ポイントデータ

GISマーケティングのノウハウを保有する株式会社JPSマーケティングを完全子会社化
2016年4月～ 株式会社ゼンリンジオインテリジェンスとGISマーケティング事業強化

既存市場のシェア拡大

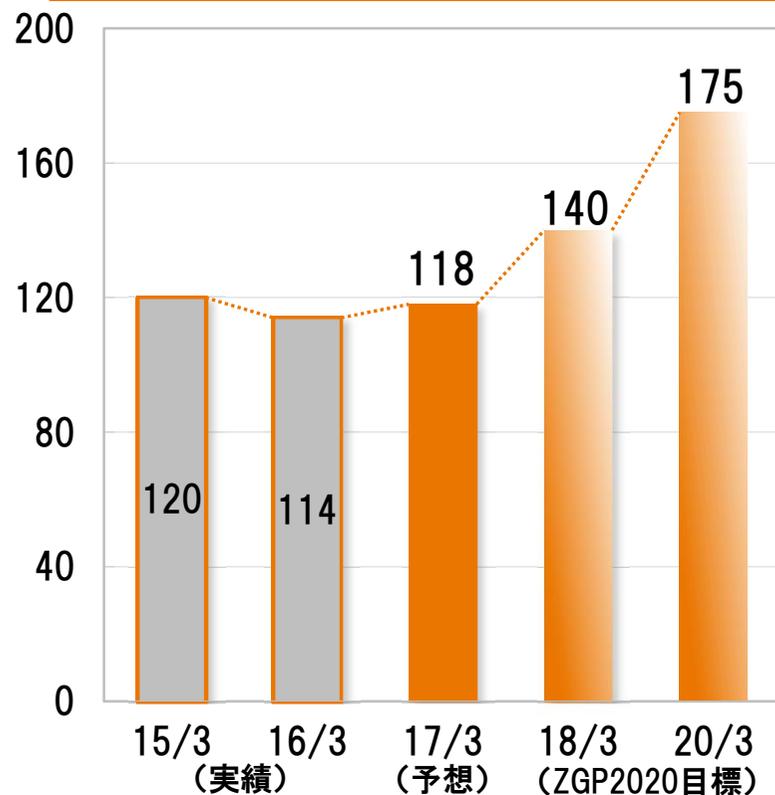
- ゼンリンの営業リソース
- ゼンリンデータコムサービスとの連携
- ゼンリンビズネクサスのDM発送代行

新規市場の創出

- エントリーモデルリリース
- GPS位置情報を活用した分析

2017年3月期 売上高予想
前期比 +3億円(+3.2%)

＜重点施策＞
ITメディアでの地図採用拡大
観光分野での協業サービス早期立ち上げ



ITメディアの「コト」を追求

★ 時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上
既存提供先へのコンテンツ採用増、他社データ切替

Webビジネスにおける広告シェアモデルの立ち上げ

★ 時空間地図DBの提供によるデジタルサイネージ市場の獲得

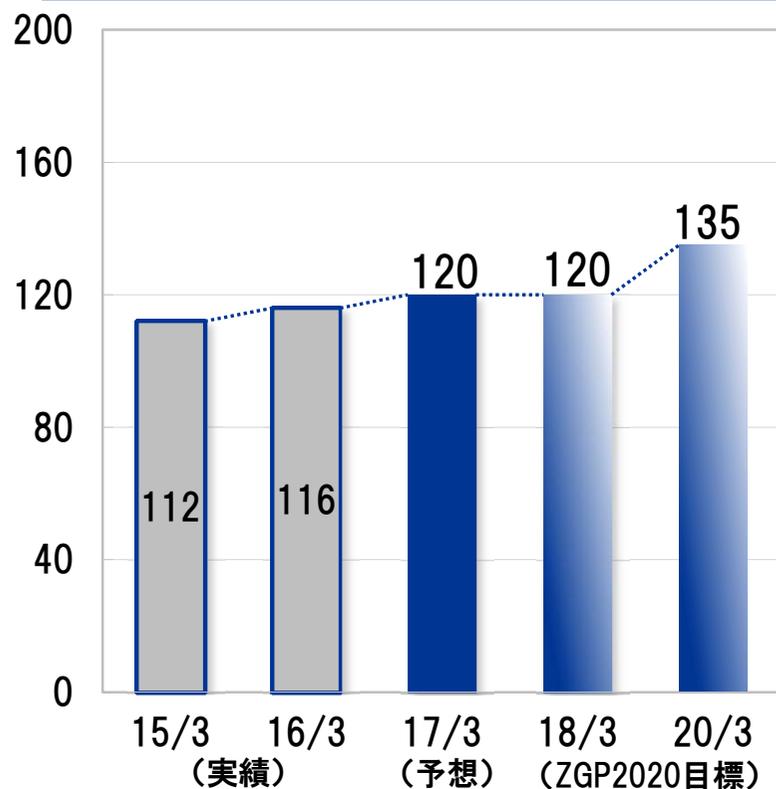
- ・商業施設、交通、宿泊施設でのサイネージ採用
- ・多言語地図データ、観光コンテンツ、屋内データ採用
- ・他業種とのコラボレーションサービス創出

成長が見込まれる「観光分野」における位置情報ビジネスの拡大

3Dデータの活用領域拡大による3Dソリューションの立ち上げ

2017年3月期 売上高予想
前期比 +4億円(+3.6%)

＜重点施策＞
地図データとアプリケーション採用拡大
高精度地図データ採用に向けた協業



「つながるナビ」と「高精度地図」

時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

★ 地図DBとアプリケーションを組合わせたトータルサービスの提案

- ・本年度採用モデルの安定運用
- ・2018年モデルの採用決定

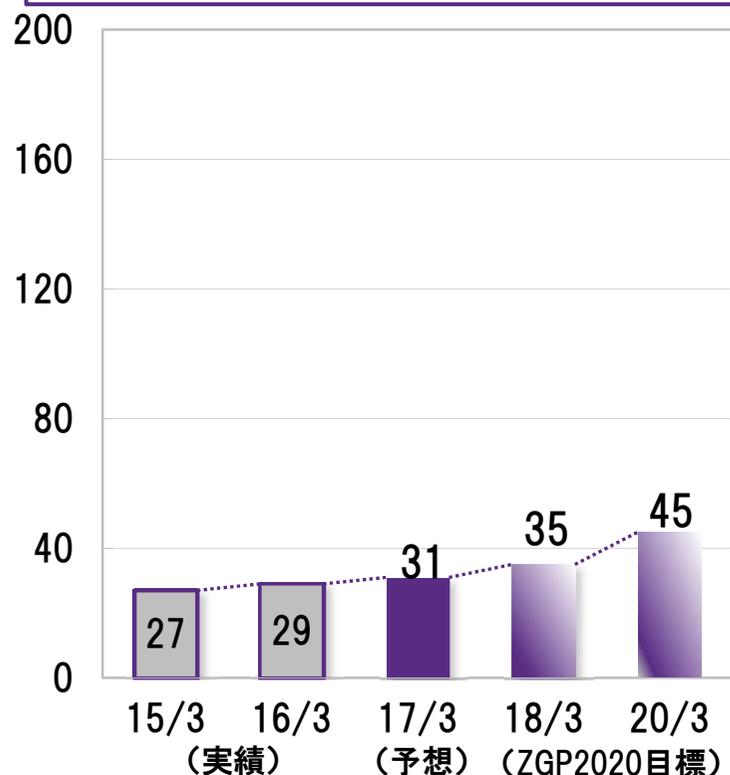
3D地図ライセンスとオーサリング案件で海外メーカー獲得

★ 高精度地図の技術確立と商品企画推進

- ・先行開発データの採用推進
- ・ZGM採用に向けた品質保証体制確立

2017年3月期 売上高予想
前期比 +2億円(+7.8%)

＜重点施策＞
新興国での採用拡大
高精度地図作成の検証



新興国エリアのビジネス基盤構築



インドビジネスの拡大

日系カーメーカー、ナビメーカー採用に向けた継続協議

ASEANビジネスの立ち上げ

ナビアプリのグローバル展開とオーサリング案件の確保



海外高精度ビジネスの立ち上げに向けた事業可能性の検証開始

海外地図ベンダーとの連携

海外GISの立ち上げ

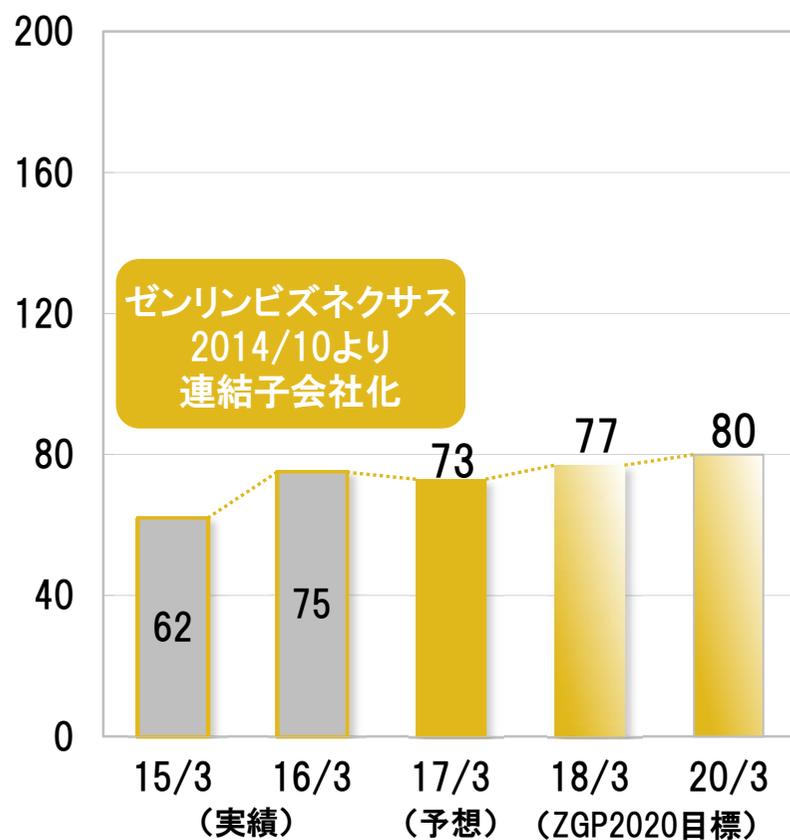
2017年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 1$ 億円($\Delta 1.8\%$)

グループシナジー再検証

一般印刷ビジネスの安定

インシッパ広告ビジネスの拡大

位置情報ビジネスとのシナジーによる売上拡大



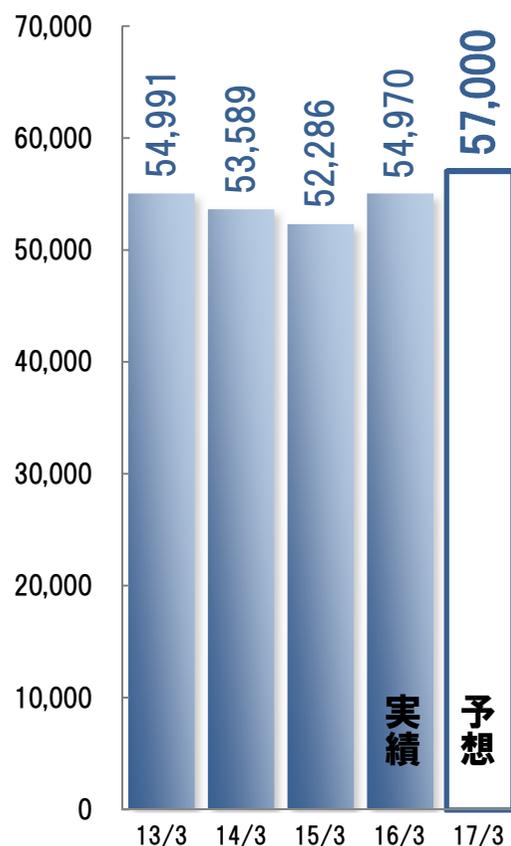
Appendix

2017年3月期 業績予想

- 1) 売上高・利益の推移
- 2) セグメント情報
- 3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 4) 四半期売上高構成比 推移

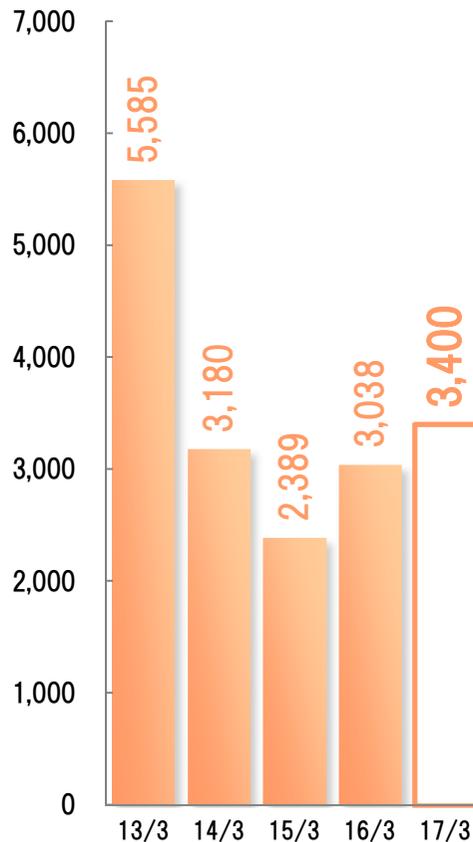
1) 売上高・利益の推移

売上高



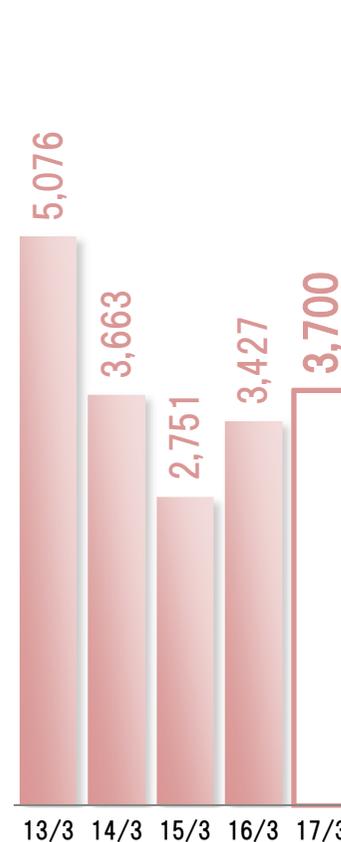
2期連続増収/過去最高

営業利益



2期連続増益

経常利益



2期連続増益

親会社株主に帰属する当期純利益



3期連続増益

売上構成
比率

84.3%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



3. その他

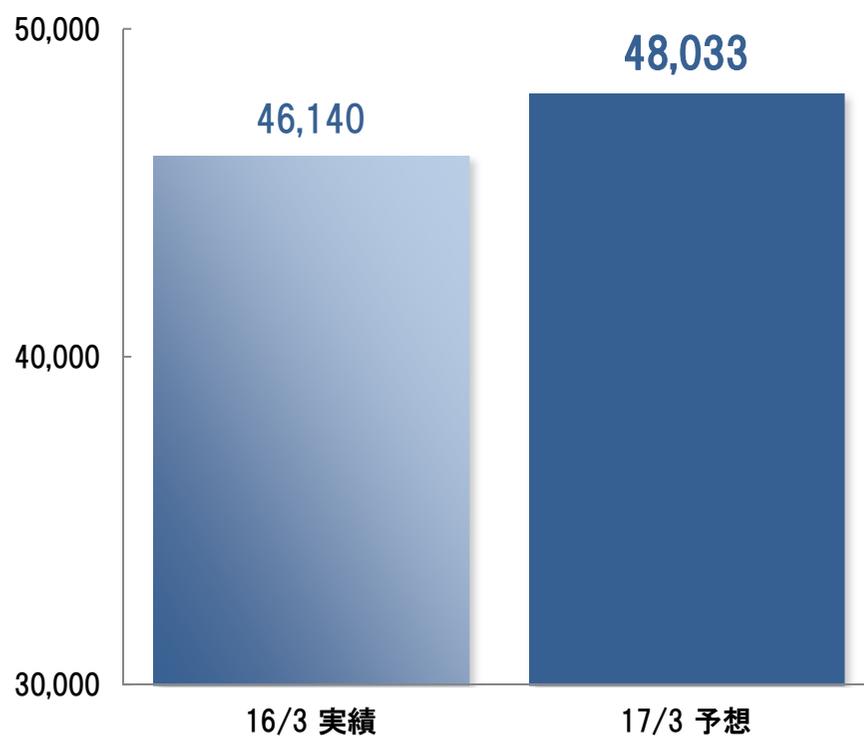
主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



売上高

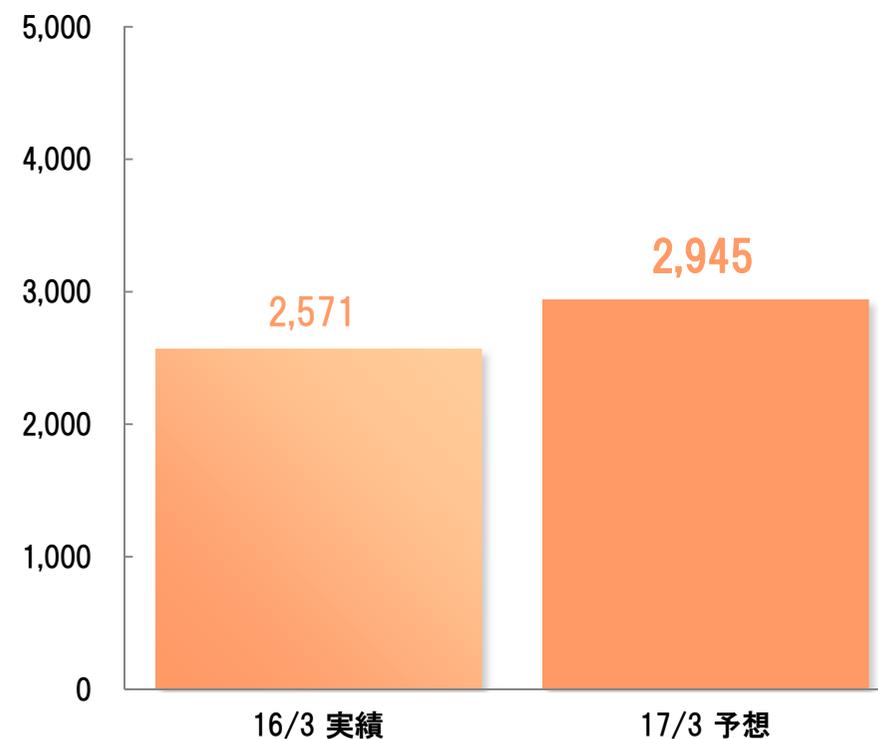
前期比

1,892増加 (4.1%)



営業利益

373増加 (14.5%)



一般印刷関連事業

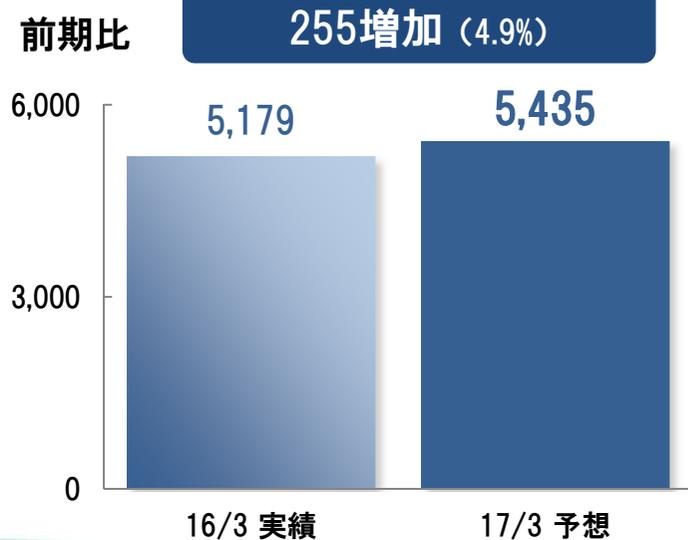
売上高



営業利益



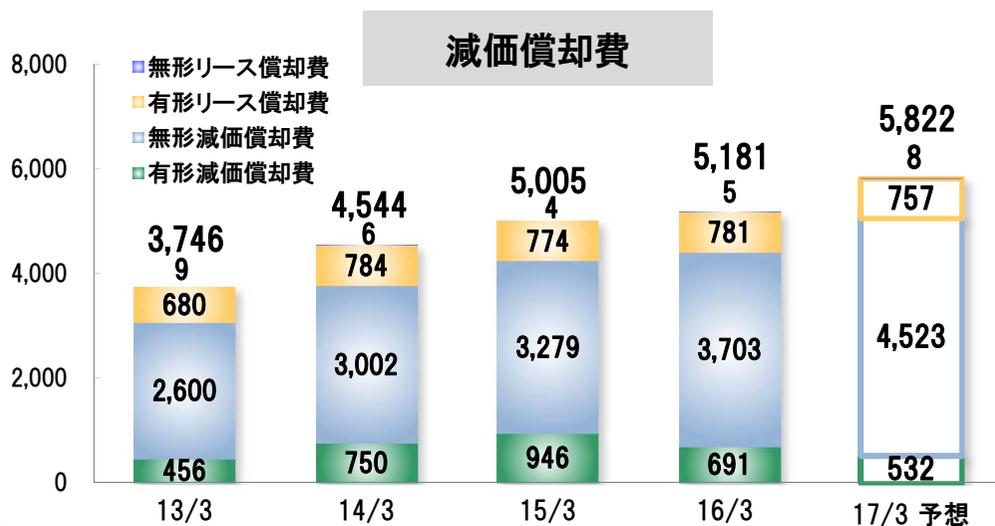
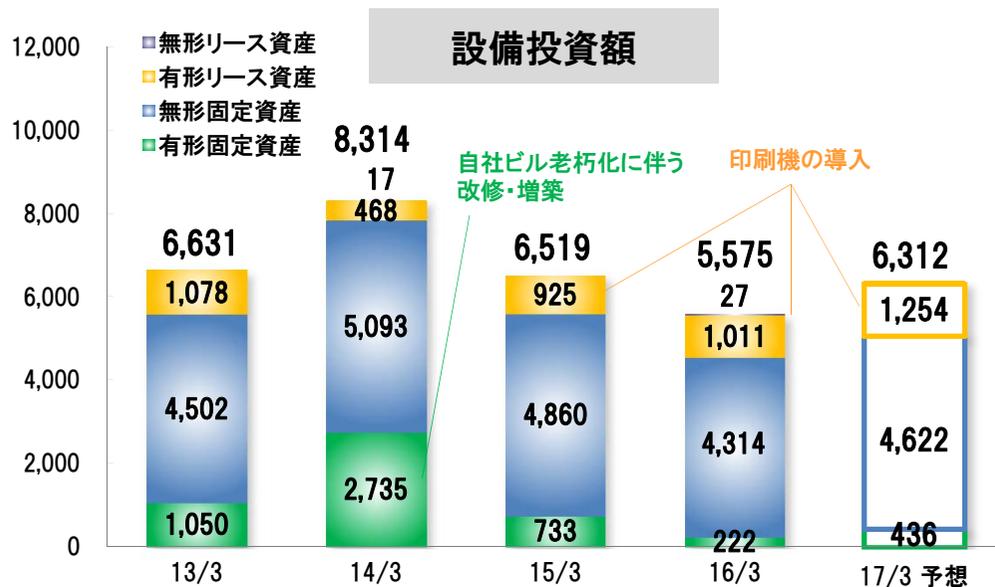
その他



3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

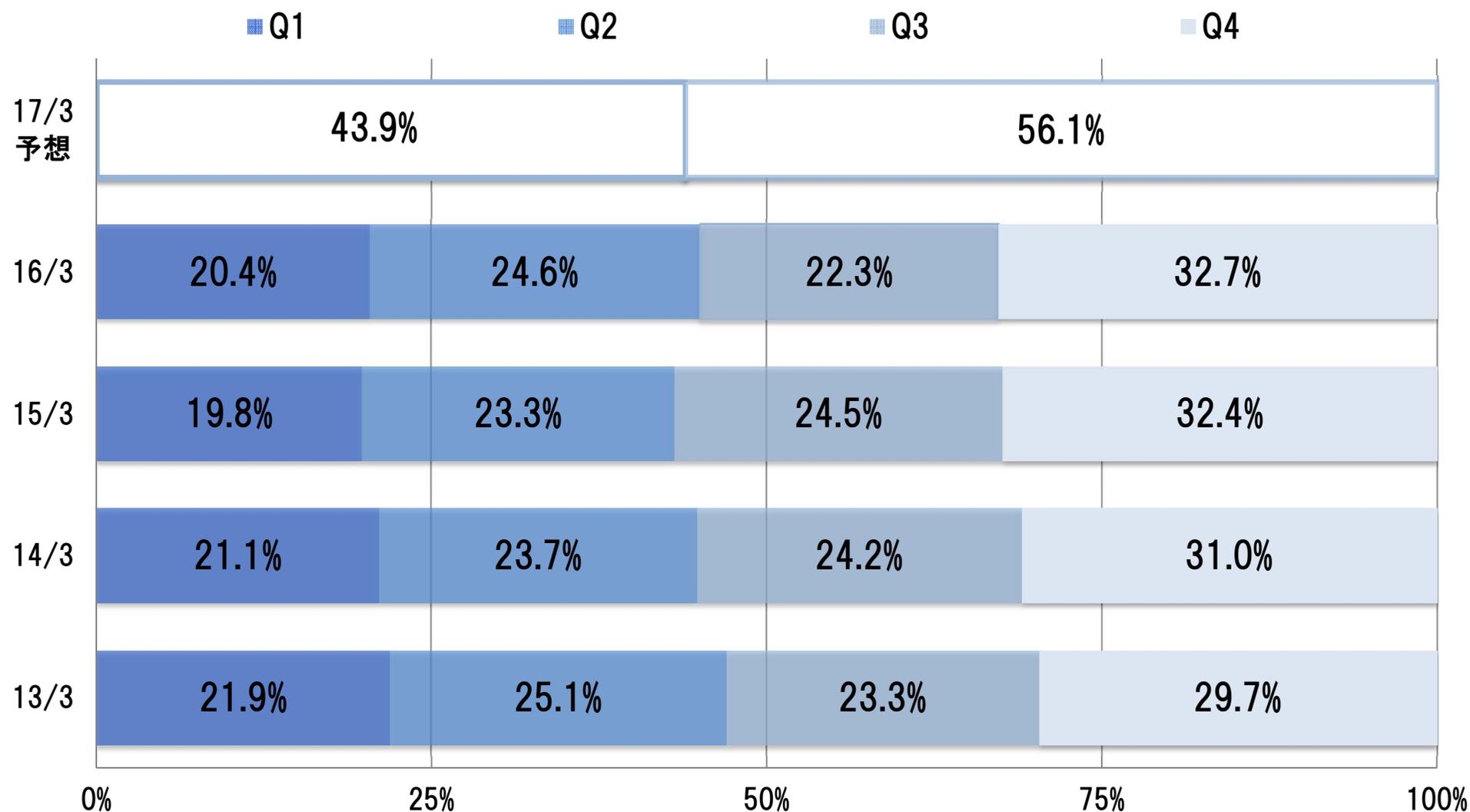
2016年3月期 決算説明会

(金額単位:百万円)



4) 四半期売上高構成比 推移

2016年3月期 決算説明会



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp